

事業名：スタッフ会議

実施日：令和5年9月15日（金曜日）15時30分～17時

場所：静岡大学静岡キャンパス スポーツプロモーション演習室

スタッフ：スタッフ教員4名、学生スタッフ7名

### 【取り組みの詳細（報告）】

正式締結に至ってから最初のミーティングを実施した。

改めて、「実施事業計画書」を見直し、その理念や目的を共有した。その後、近々の事業について、各担当者から説明をし、意見交換を行った。また、学生スタッフ組織の組織化についても意見交換をし、今後の組織化戦略について方向性を定めた。



事業名：先行事例視察および打ち合わせ  
実施日：令和5年8月29日（火曜日）～9月1日（金曜日）  
場所：同志社大学今出川校地ほか  
スタッフ：村田真一、平嶋裕輔

### 【取り組みの詳細（報告）】

8月30日（水）～9月1日（金）の期間で京都府にある同志社大学今出川校地で開催された、日本体育・スポーツ・健康学会第73回大会へ参加してきた。この視察の目的は、大学と地域連携に関するシンポジウムや研究発表から本事業へ新たな知見を得ることであった。大会では、UNIVAS主催のシンポジウムもあり、スポーツ推薦の問題点を垣間見え、どのように大学内の資源の質を高め・育成していくかという点についても、来年度以降は考えていく必要があるなと思った。

また、学会の合間には本プロジェクトへ講師として協力していただき、国際武道大学の鈴木健介先生、プロサッカー指導者の北野誠氏と対面で打ち合わせを行い、本事業を成功させる上で貴重な時間となった。

事業名：先行事例視察  
実施日：令和5年9月13日（水曜日）～9月16日（土曜日）  
場所：筑波大学  
スタッフ：平嶋裕輔

### 【取り組みの詳細（報告）】

9月13日（水）～9月16日（土）の期間で、茨城県にある筑波大学で先進事例視察を行なった。筑波大学蹴球部および女子サッカー一部は、大学資源を活用した地域貢献活動を積極的に実施していることから、本視察に至った。

まず、筑波大学の中山雅雄教授にお話を聞き、現在の活動状況について説明を受けた。また、蹴球部の監督である小井土正亮准教授にもお話を聞き、特に蹴球部が行っている活動について説明を受けるとともに、グラウンドで実際の活動を見学させて頂いた。

さらに、筑波大学女子サッカー一部の田井楓ヘッドコーチからお話を聞き、女子サッカー一部の現在の活動について説明を受けるとともに、グラウンドで実際の活動を見学させて頂いた。

残念ながら予定していた試合の視察は出来なかったが、来年度以降の事業を進めるに当たり貴重な知見を得ることができた。

事業名：出前動きづくり教室の企画運営に関する調査・視察  
実施日：令和5年9月16日（土曜日）～9月17日（日曜日）  
場所：南山大学、名城大学、愛知県青年の家  
スタッフ：祝原豊、村田真一、プロジェクト学生（2名）

## 【取り組みの詳細（報告）】

動きづくり教室のプログラム作成に際し、その目的に合わせた構成を考えるうえでの助言を、南山大学の飯田先生にいただくこととした。プログラム目的としては小学校の中高学年に向けた、道具を扱うスポーツ（球技等）の基礎となる、身体のコントロールに関わる動きの習得であったが、これらについてご経験や研究ベースでの助言・資料を提示いただくことができた。これらから、事前に構成したプログラムを再構成する材料を得た。加えて翌日は、球技のひとつとしてのバスケットボール熟練者の大会を視察することで、球技で求められる身体の移動・ストップ・方向転換、四肢の動きについて視察を通して整理することができた。

さらに、小学生を対象にした運動・遊びの指導についての研修（日本スポーツ少年団ジュニアリーダースクール（@愛知県青年の家））を視察させてもらい、小学校低学年の動き現状や、指導上の配慮すべき点等をリサーチし、議論する時間もいただくことで、実際の教室での展開を考える手がかりを得ることができた。



事業名：先行事例視察および打ち合わせ  
実施日：令和5年10月28日（土曜日）～10月29日（日曜日）  
場所：筑波大学  
スタッフ：平嶋裕輔

### 【取り組みの詳細（報告）】

前回の訪問で視察できなかった、ホームゲームの視察を行なうために、改めて10月28日（土）～10月29日（日）の期間で、茨城県にある筑波大学で先進事例視察を行なった。筑波大学蹴球部および女子サッカー部は、大学サッカー場でのホームゲームに数百人動員することもあり、大学スポーツを盛り上げる上で、貴重な知見を獲得できると考えた。

今回は、筑波大学女子サッカー部の田井楓ヘッドコーチからお話を聞くとともに、女子サッカー部のホームゲームの運営の様子を視察した。実際に当日も100名以上の観客がいた。特に印象に残っている点としては、当日までの準備に相当な時間をかけている様子がうかがえた。

また、あわせて筑波大学特任助教の高柳昂平先生、国立スポーツ科学センター研究員の吉田拓矢氏とも、年明けの事業について対面での打ち合わせを実施することができた。

事業名：グローバルスポーツイベント第1回  
イベント名：恩田原グローバルスポーツイベント  
実施日：令和5年度10月15日（土）9：00～12：00 13：00～15：00  
天候：雨のち晴れ(23℃ 湿度74%)  
場所：恩田原スポーツ広場（大谷地区）  
参加人数：男性15名 女性8名 計23名（大人15名、子供8名）  
スタッフ：杉山康司、講師：高宮佳祐 学生補助 8名



【取り組みの詳細（報告）】 開催時は雨が降っていたため開催時間を1時間ずらして行った。モルック、ウォーキングサッカー、ブローライフル、ノルディックウォーキングを体験することができるイベント。誰でも行うことができるという点が魅力のニュースポーツを体験してもらい、参加者の運動習慣確保と地域活性化に繋げながら近隣に居住する外国籍労働者や留学生をとのコミュニケーションをとり多様性社会に向けたコミュニティーを図ることを目的としている。

6～79歳までの幅広い年代の参加者が集まった。能力や年齢差関係なく楽しんでいる様子が伺えた。また、今回のイベントをきっかけにモルックを購入した参加者もいたということで、ニュースポーツの魅力を伝えることができたと考えられる。さらに今回の海外国籍の参加者は1名であったものの、町内会での活動に近隣に住む外国籍の方との交流が進む兆しが見られた。様々な年代、国籍の方々の交流の場とし、地域の活性化に繋がりたい。



事業名：グローバルスポーツイベント第2回

イベント名：インクルーシブサッカー大会

実施日：令和5年度11月19日（日）12：00～15：00

天候：晴れ(22℃ 湿度32%)

場所：静岡大学サッカーグラウンド（大谷地区）

参加人数：男性37名 女性11名 計48名（大人34名、子供14名）

講師：鈴木健介（国際武道大学）、高宮佳祐（静岡大学非常勤講師）スタッフ 平嶋裕輔 学生補助 7名

### 【取り組みの詳細（報告）】

本イベントは子供から大人までさまざまな年代の人が、国籍や性別に関わらず参加し、サッカーを楽しむことのできる機会を設けることで、スポーツを通じた健康の増進について考えてもらうことを目的とした。また、サッカーのような競技スポーツでもルール等を工夫することで多くの人に参加できるインクルーシブなスポーツになることを知ってもらうことも目的とした。また、外国籍の子ども、大人の参加があり異文化の交流機会も設けることができた。中にはチラシを見て富士市から、高校生が参加したが、英語教室の先生に進められたということでスタッフが外国籍の参加者との英会話を実現させた。

国際武道大学でサッカー部の指導を行っている鈴木健介先生の協力の下、静岡大学（平嶋研究室）が「インクルーシブサッカー大会」を開催した。講師の鈴木先生が中心となり様々な年代の人が、国籍や性別に関係なく参加者全員で楽しみ、創り上げていくことを目指し、チームメイトの名前を覚えるためのゲームやボール集めゲームなどアイスブレイクの要素を含んだウォーミングアップと、ハーフコートで4チーム総当たりの試合を行った。

事業名：グローバルスポーツイベント第3回  
イベント名：バンビーノ グローバルスポーツイベント  
実施日：令和5年度11月26日（土）10：00～15：00  
天候：晴れ(15.7℃)  
場所：静岡市立大谷小学校（大谷地区）  
参加人数：180名  
スタッフ：平嶋裕輔・杉山康司、講師：高宮佳祐 学生補助 10名



### 【取り組みの詳細（報告）】

静岡市の大谷・小鹿まちづくり推進課の協力の下、静岡大学（平嶋研究室）が主催の本イベントが開催された。木製の棒を投げて点数を競うモルック、パイプに入れたブローボールを呼気で飛ばし的（ターゲット）を狙うブローライフル、サッカーボールを蹴り的をねらうキックターゲット、フライングディスクを専用ゴールに入れ投数を競うディスクゴルフ、サッカー体験会の6種目を行った。それぞれのブースには学生が配置され、参加者の補助や一緒にスポーツを楽しんだ。

天候にも恵まれ無事にイベントを開催することができた。モルックは参加者に最も好評で、多くの親子連れや一般の方にも体験していただけた。今回イベントを行った会場が小学校ということもあり、多くの小学生が参加した。グローバルスポーツイベントは残り1回となったが、これまで行い、でてきた反省点等を活かしより良いものを作っていきたいと最後のスタッフミーティングにおいても前向きな声が出た。

事業名：グローバルスポーツイベント第4回

イベント名：ビックフェスタ

実施日：令和5年度12月17日（日）9：00～12：00

天候：晴れ(11℃ 湿度45%)

場所：静岡大学サッカー場（大谷地区）

参加人数：児童40名（小学生35名、未就学児童5名）、保護者24名 計64名

講師：茶野裕史（日本サッカー協会公認コーチ） スタッフ：平嶋裕輔、学生補助



24名

## 【取り組みの詳細（報告）】



本イベントは児童とその保護者を対象に、サッカーを学ぶとともに様々なニュースポーツを体験することのできる機会を作ること、子供はもちろん大人も一緒に身体を動かしながらスポーツを楽しんでもらうことを目的とした。

Soccer Plus Management 代表の茶野裕史氏の協力の下、静岡大学（平嶋研究室）が「ビックフェスタ」を開催した。全体でのウォーミングアップを行った後、講師の茶野氏が中心となり経験者グループと未経験者グループの2つに分かれて、それぞれのレベルに合わせたサッカー教室を開催した。同時に、4種類のニュースポーツ（キックターゲット、ディスクゴルフ、モルック、ブローライフル）を体験することのできるブースを併設した。サッカー教室は参加者のレベルに合わせて2部制で実施し、経験者、未経験者に関わらずサッカーを楽しく学ぶことのできるプログラムとなった。スポーツ体験はキックターゲット、ディスクゴルフ、モルック、ブローライフルの4ヶ所があり、子供だけでなく大人も一緒に参加し勝負形式で行うなどニュースポーツの良さが活かされたイベントとなった。



## 事業名：地域安全見守り隊

1 見守り隊実践活動

2 見守り隊イベント活動

3 見守りたい活動コース調査とガイドマップ作成

### 【取り組みの詳細（報告）】

地域安全見守り隊は事業は主に以下の3つのテーマを同時進行している。

- ①：見守り隊実践活動は近隣の方々や大学生に呼びかけ定期的な活動の中で地域の安全にスポーツが貢献する実践活動
- ②：各種イベントを計画し、小鹿大谷地区を中心に誰もが安全に暮らせるようなウェルネスシティーの実現に向けた取り組みを知っていただくイベント及び教室開催
- ③：①および②を実践していくための活動拠点とコースを調査・実験して健康づくりに安全かつ有効な活動マップの作成

現在は次ページ以降

地域安全見守り隊①、地域安全見守り隊②、地域安全見守り隊③として各進捗状況を報告する

事業名：地域安全見守り隊①

実施日：令和5年9月5日（火曜日）以降の毎週火・水・金・土の30分間（天候等により中止の場合有）

場所：大谷地区の道路

スタッフ：平嶋裕輔、静岡大女子サッカー一部員7名

### 【取り組みの詳細（報告）】

事業が開始した9月5日（火）以降、毎週火・水・金・土の30分間大谷地区の道路を女子サッカー部のランニングトレーニングの一環として、地域安全見守り隊を行っている。主に平日は18：00～18：30、土曜日は11：00～11：30の時間帯で実施しており、これまでに、すでに30回以上実施している。

大谷地区の道路は、大学周辺にも関わらず歩道が狭く、また整備不良のため走りにくい箇所があり、さらに街灯が少ないことから、決して安全であるとは言えない。実際、10月11日（水）には、迷子になっていた老人に学生が声をかけ、警察へ引き渡すという事象も発生した。このときも、警察は家族から届けがあり3時間ほど探していたが見つからなかったということであった。

トレーニングにもなり、また地域貢献にも繋がる事業であるため、引き続き活動を継続していく予定である。



チームを作って見守り隊の参加者やを募集したり、活動の理解を得る働き替えkを町内会自治体の関係者に広める活動をした。左は活動の様子

# 事業名：地域安全見守り隊②-1

イベント名：静岡ノルディックウォーキングフォーラム～大谷・小鹿まちづくり事業～

実施日：令和5年度10月21日（土）10:00～15:00

天候：晴れ（気温24℃ 湿度55%）

場所：静岡大学および恩田原スポーツ広場（大谷地区）

参加人数：男性10名 女性22名 計32名

スタッフ：杉山康司、講師：前澤康代、長津恒輝、学生補助 8名



## 【取り組みの詳細（報告）】

本イベントはノルディックウォーキング（略：NW）愛好者がNWや健康エクササイズ最新の知見を得られる場を提供しながら、参加者に大谷・小鹿地域での安全見守り隊活動の趣旨やまちづくり事業に結びつくウェルネスシティー構想のために作成したウォーキングコースを歩いてもらうこと、NW愛好家のみならず、地域住民にNW体験、地域見守り隊およびウォーキングコース紹介をすることを目的とした。

講師はノルディックウォーキング振興会の上級指導員である長津氏、および前澤氏に依頼し、普段からNWを行っている人や、初めての人でもわかりやすいNWの基礎知識や最新のエクササイズを講義形式と実演形式で提供した。午後、実際にウォーキングコースをウォーキングすることで、午前に学んだことを体現し、講師からのさらなる補足説明によりNW及び地域の見守り隊活動及びコース案内を含め参加者は理解を深めた。

静岡ノルディックウォーキングフォーラム  
～大谷・小鹿まちづくり事業～

ノルディックウォーキング（略：NW）振興会と静岡大学が主催の「NWフォーラム」を開催します。  
普段からNWやウォーキングを行っている方、地域の皆さまもNWの基礎知識や最新のエクササイズを学び、一緒に歩きましょう！

ノルディックウォーキングとは？  
2本のポールを使用して行うウォーキング。ポールで支えながら歩くことで、安定な歩幅の上半身の筋肉も活用するので、運動量UP

参加者募集  
定員20名

スケジュール  
10:00 盛大集合  
10:15 座学・質問会  
11:00 実技講習  
11:45 学食で昼食  
13:00 ウォーキング  
13:30 レタイン恩田原  
14:00 ウォーキング  
15:00 イベント終了

日程  
令和5年10月21日（土）  
場所  
・静岡大学  
・恩田原スポーツ広場  
\*地図の赤線がコース（約6km）

講師の紹介  
杉山康司  
静岡大学グローバル文化創成センター  
長津恒輝  
ノルディックウォーキング振興会  
前澤康代  
ノルディックウォーキング振興会

お問い合わせ先  
静岡大学  
地域創造学課 杉山研究室  
E: shizudaisports@gmail.com

お申し込みはこちらから

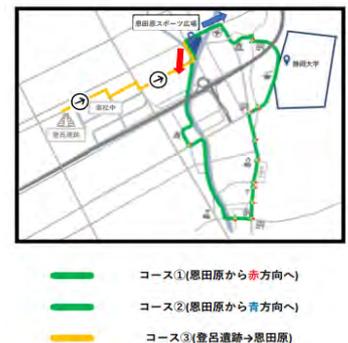
※事業はスポーツ庁及SNVAPJ委託事業である「令和5年度スポーツ資源を活用した地域振興モデル事業」によるもので1



コース図（1, 2班）



コース図（3班）



事業名：地域安全見守り隊②-2

イベント名：健康教室with地域安全見守り隊～大谷・小鹿まちづくり事業～

実施日：令和5年度11月7日（火）8日（水）、11月14日（火）、11月21日（火）、11月28日（火）、12月5日（火）の5週 6：30～7：30、19：30～20：30 計10回

天候：晴れ

場所：静岡大学周辺ウォーキングコースおよび恩田原スポーツ広場（大谷地区）

参加人数：合計 **32名**

スタッフ：杉山康司、講師：長津恒輝、学生補助 延べ40名



## 【取り組みの詳細（報告）】

### 地域安全見守り隊として

**あさんぽ**  
公園から恩田原スポーツ広場を往復

時間 6:30～7:45  
(ラジオ体操後に出発)

対象者 どなたでも

場所 11月 7日：池島島崎公園  
11月 14日：有明公園  
11月 21日：登呂公園  
11月 28日：高松公園  
12月 5日：大谷不動山公園

**健康教室 with 地域安全見守り隊**  
2023. 11.7-12.5 毎週火曜日

大谷・小鹿地区に考案された5つのウォーキングコース  
みなさん一緒に歩きませんか？  
毎日、コース内の恩田原スポーツ広場において健康教室を実施します。  
※コースや健康教室の詳細は裏面

参加費 無料

**ナイトウォーク**  
恩田原公園から各公園を往復

時間 19:30～20:30

対象者 どなたでも  
(小学生は保護者同伴)

場所 恩田原公園

1回のみ参加・飛び入り参加 大歓迎!!  
途中で抜けても構いません。

事前申込 QRコード

講師 長津恒輝  
静岡大学健康科学部健康科学学専攻  
スポーツ庁大学スポーツ推進を活用した地域振興モデル創出支援事業

お問い合わせ: shizudasports@gmail.com 大谷・小鹿地区 地域安全見守り隊事業  
(静岡大学地域別健康スポーツ推進) スポーツ庁 大学スポーツ推進を活用した地域振興モデル創出支援事業

大谷・小鹿地区  
ウォーキングマップ

11月7日 池島島崎公園  
11月14日 有明公園  
11月21日 登呂公園  
11月28日 高松公園  
12月5日 大谷不動山公園

健康教室の内容

11月 7日： 簡易的な体カチェック  
11月 14日： 健康のための筋トレ  
11月 21日： ウォーキングテストとその利用  
11月 28日： ノルディックウォーキング歩き方講座  
12月 5日： プロペラライフルによる呼吸器トレーニング

講師はスポーツ健康科学を専門にする静岡大学非常勤講師の長津氏に依頼した。教室は毎週火曜日朝と夜の全10回を計画し、健康教室を開催しながら、地域安全見守り隊の活動を紹介し、我々が提案するコースをウォーキングする計画であった。朝の「あさんぽ」はラジオ体操の会場に出向き、1週間の活動を通して健康教室とウォーキングコースについてのチラシ配布を行い、当日に実践をすることとし、毎週違う会場（各災害避難所となっている公園5か所）で開催した。

夕刻の「ナイトウォーク」は恩田原スポーツ広場公園で毎週開催した。

「あさんぽ」は高齢者にあわせた体カテストと健康に関する講話を交えたのち希望者にはウォーキングコースと一緒に歩きながらコースの案内をした。開催する公演はウォーキングコース沿線上の公園とし、毎週その近所の方々をターゲットにした。「ナイトウォーク」は恩田原スポーツ広場公園でニュースポーツ体験などを紹介しつつ健康づくりと運動の大切さに触れ、恩田原からスタートする5コースを毎週ひとつずつ紹介した。

事業名：地域安全見守り隊③-1

実施日：令和5年度9月1日～

場所：静岡大学スポーツプロモーション実験室および小鹿大谷周辺道路

## 【取り組みの詳細（報告）】

地域安全見守り隊で活動を促すためのウォーキング等のコースマップを地図上で検討し、実地検分を重ねてコース案の作成に至った。

また学生被験者を募集し、コース内のウォーキングを2種類のスピードで実践し、その心拍数（HR）を測定した。また、静岡大学実験室内においてトレッドミルを用いてウォーキング中の心拍数と酸素摂取量を測定し、運動生理学的知見から各コースにおけるエネルギー消費量情報の分析に当たっている。現在の進捗はここまでであり、今後コースのさらなる検討で追加測定を行う可能性が残っている。また、リーフレットを作成するにあたり、生理学的情報を盛り込み健康づくりに活かせるように歩き方に関する基礎データの収集準備を始めている

以下の写真はa) 大学内での基礎データ実験の風景、b) 心拍数を測定調査の風景、c, d, e) 時間帯別コース情報調査写真である。健康づくりに活かせるように基礎データの収集を行っている



a) 屋内実験



b) HR測定実験



c) 夜間照明の観察



d) 交通量歩道幅観察



e) 交通量道路幅観察

事業名：地域安全見守り隊③-2

実施日：令和5年度9月1日～

場所：静岡大学スポーツプロモーション実験室および小鹿大谷周辺道路

## 【取り組みの詳細（報告）】

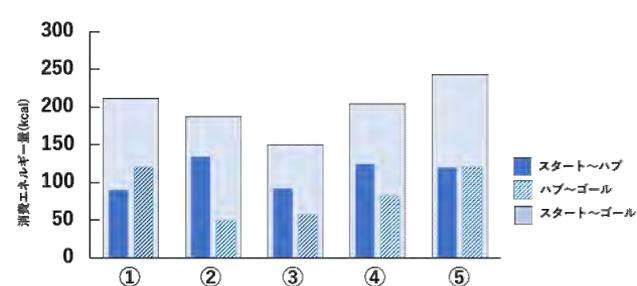


図2 選足時における各コースの消費エネルギー量の比較。

大谷・小鹿地区  
ウォーキングコース  
MAP

ウォーキングコースも楽しめる散歩づくり  
新らしい街を歩こう！

地域見守り隊としてウォーキングコースの実際の歩行調査（カロリー測定実験を実施し、結果を得た。その結果をコース紹介に反映し、さらに地域の見守り隊としてウォーキングを楽しみながらできるようにリーフレットの作成と配布準備までを行った。上の図はHP用に作成したウォーキングマップである。また、左図は実験により明らかにしたコースのエネルギー消費量を示しており、この成果を各マップに掲載している。また、リーフレットを作成するにあたり、シューズの底の形状の変化と筋放電量の変化を加速度計とともに計測実験を実施し、データについてリーフレットに掲載した。

事業名：静大ジュニアハンドボールクリニック<第1回>  
実施日：令和5年11月2日（木曜日）16時～17時  
場所：静岡東中学校体育館  
スタッフ：村田真一、静岡大学女子ハンドボール部員  
参加者：静岡東中学校女子ハンドボール部員15名

## 【取り組みの詳細（報告）】

中学校運動部活動の地域移行が取り沙汰されている中、生徒たちにとって、選択できる種目が限定される問題が顕在化している。なぜなら、少子化により活動人数を確保できる種目（チーム）が年々減ってきていることから、中学校現場では既存種目を活かす形で改革が実施されている。このような流れでは、新規種目を追加、振興することが困難な状況を示しており、実際に静岡県においては、ハンドボール競技の部活動（チーム）が1校しかないのが現状である。

そこで、静岡大近隣の4中学校に対し、ハンドボールクリニックの実施を呼びかけたところ、4名の生徒が応募した。これに併せて、県内唯一のハンドボール部（静岡東中学校女子ハンドボール部）に対し、今後の活動の活性化に寄与する目的で合同クリニックを提案し、実施することとなった。

初回の中学校へ出向いてのクリニックでは、初顔合わせのせいか序盤は互いに緊張感があつたものの、活動が進むにつれ和気あいあいとした雰囲気の中、活動をすることができた。大学生によるコーチングや声かけが、中学生にとっては新鮮で、「楽しかった」という感想を頂いた。



**ハンドボール**

ハンドボールを始めてみたい！という生徒の皆さんと、静岡大学の選手・スタッフとで楽しく運動しましょう。

事業名：静大ハンドボールクリニック

場 所：静岡大学静岡キャンパス  
ハンドボールコート（屋外です）  
〒422-8529静岡市駿河区大谷836

内 容：バスケゲーム/  
巧みな動きづくりトレーニング/  
ハンドボール（導入編）

期 日：令和5年11月から翌年1月までを予定  
毎週木曜日と土曜日  
1回につき2時間程度（詳細は裏面をご確認ください）

本年度は無料！

バスケとサッカーが融合したようなスポーツです。ヨーロッパでは最大の人気を誇る屋内競技と言われています。この迫力と面白さ、保証します！

詳しくは、裏面をご参照願います。



事業名：静大ジュニアハンドボールクリニック<第2回>  
実施日：令和5年11月9日（木曜日）16時～17時  
場所：静岡東中学校体育館  
スタッフ：村田真一、静岡大学女子ハンドボール部員  
参加者：静岡東中学校女子ハンドボール部員15名

### 【取り組みの詳細（報告）】

第2回目についても、静岡東中に出向いてのクリニックとなった。

この回は、シュート動作の基本に内容を絞って実施した。シュート動作の主要局面だけでなく、準備局面の大事さを解説しながら、「守備の視野を外す」ことの意味と動作について理解を深めた。

大学生が模範演技をしながら進めたが、大学生自身にとっても気づきや難しさを感じる機会になった。

参加者（中学生）からは、「初回に比べて、お互いのコミュニケーションが増えてきて、いろいろ聞きながら出来たことがよかった」との感想があった。



事業名：静大ジュニアハンドボールクリニック<第3回>

実施日：令和5年11月11日（土曜日）13時～15時

場所：静岡大学静岡キャンパス体育館

スタッフ：村田真一、静岡大学女子ハンドボール部員、球技指導に関心ある男子学生2名

参加者：クリニック応募者2名（中学3年男子）

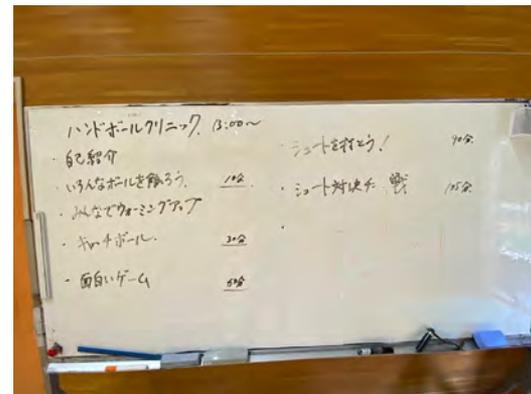
### 【取り組みの詳細（報告）】

第3回目は、大学体育館にて実施した。この回では、応募いただいた有志中学生2名の参加だった。

2名の男子中学生は、ハンドボールへの興味・関心が高く、「高校でハンドボールを始める！」という意思の強い生徒だった。はじめに自己紹介の後、ウォーミングアップを兼ねてボールを使った巧みな運動遊びを行った。その後、キャッチボールを行ったが、そこでもいろいろなシチュエーションを想定しての様々な投げ方について解説、実施した。

簡易ゲームは、我々で考案した「ボードあてゲーム」を行い、相当な運動量と予測する動きの連続を意図したことで、活発なボール運動体験となった。

さいごに、シュート動作について取り上げ、まずは、参加者それぞれに存分なシュート運動の機会を提供した。



事業名：静大ジュニアハンドボールクリニック<第4回>  
実施日：令和5年11月16日（木曜日）16時～17時  
場所：静岡東中学校体育館  
スタッフ：村田真一、静岡大学女子ハンドボール部員  
参加者：静岡東中学校女子ハンドボール部員15名

### 【取り組みの詳細（報告）】

第4回目は、静岡東中への出張クリニックであった。

この回では、シュートに入る前のボールキャッチ動作（準備局面）について実践した。中学生にとってはキャッチ動作は簡単ではなく、特に、ボールキャッチした後の足運び（バックステップ）について難しさを感じているようだった。

また、ハンドボールではゴールキーパーもあるのだが、その点を日常的にコーチングすることが中学校現場では難しい様子だったので、大学生が個別にコーチングをしながら、いろいろな意見交換を図った。

参加者からは、「ポジションごとにいろいろは話を聞いたので参考になった」との感想があった。



事業名：静大ジュニアハンドボールクリニック<第5回>  
実施日：令和5年11月18日（土曜日）10時～12時  
場所：静岡大学静岡キャンパス屋外ハンドボールコート  
スタッフ：村田真一、静岡大学女子ハンドボール部員  
参加者：クリニック応募者4名、静岡東中学校女子ハンドボール部員12名

### 【取り組みの詳細（報告）】

第5回目は、大学グラウンドで実施した。この回から応募者4名が全員参加し、さらに静岡東中の女子ハンドボール部員有志も参加し、多くの生徒の参加が実現された。

この回では、ハンドボールコート2面分を用意できたことから、参加者を4チームに分け簡易的なゲームによりボール運動に必要な技能等の理解を深めた。また、初めての参加者もいたことから、あまり細かい内容は伝えず、とにかく多くの運動ができるようなメニューで実施した。特に、シュート動作について、簡単な動きからできるシュートを教授した（ジャンプシュートよりはステップシュートの重要性を説いた）。

参加者からは、「難しいけど、ボールも小さく扱いやすかったので楽しかった」との感想があった。次回以降は、習熟度別に分けたメニューの時間も設けながら、各自の課題に応じることを工夫していきたい。



12月は、12/2、9、14、16、21、23に、大学グラウンドにて実施予定。

事業名：静大ジュニアハンドボールクリニック<第6回>  
実施日：令和5年11月30日（土曜日）16時～17時  
場所：静岡東中学校体育館  
スタッフ：村田真一、静岡大学女子ハンドボール部員  
参加者：静岡東中学校女子ハンドボール部員12名

### 【取り組みの詳細（報告）】

第6回目は、静岡東中への出張クリニックであった。

この回では、攻守の切り替えを早めるための特殊ゲーム（ボード当てゲーム）を中心に実施した。攻撃と守備の入れ替えには“予測する”こと（意識）の重要性をおさえながらゲームを試した。

また、チーム内でのディスカッションの時間を重視し、それぞれで戦術を考えさせることに留意して行った。

参加者からは、「このゲームは、ハンドボールに通じることがあって面白い」との感想があった。



事業名：静大ジュニアハンドボールクリニック<第7回>  
実施日：令和5年12月2日（土曜日）10時～12時  
場所：静岡大学静岡キャンパス屋外ハンドボールコート  
スタッフ：村田真一、静岡大学女子ハンドボール部員  
参加者：クリニック応募者4名、静岡東中学校女子ハンドボール部員13名

## 【取り組みの詳細（報告）】

第7回目は、大学グラウンドで実施した。

この回では、フェイント動作の足さばきを中心に個人戦術に関するテーマで進めた。日頃、無意識でやっているフェイント動作について、自ら説明できるかを問いながら実践してみると、実際にはスムーズではないケースも見られ、新たな発見につながったと思われる。また、初心者の参加者に対する教え合い活動も実践することで、コミュニケーションやディスカッションが豊かになったと思われた。



事業名：静大ジュニアハンドボールクリニック<第8回>  
実施日：令和5年12月7日（木曜日）16時～17時  
場所：静岡東中学校体育館  
スタッフ：村田真一、静岡大学女子ハンドボール部員  
参加者：静岡東中学校女子ハンドボール部員10名

### 【取り組みの詳細（報告）】

第8回目は、静岡東中学校体育館での出張クリニックであった。

この回では、6回目に実践したボード当てゲームの続きを中心に行った。以前と比較し、攻守の切り替えが早くなり、チーム内のコミュニケーションの取り方が円滑になった。そのため、チームとして意図的な戦術を練られるようになった。

続けて、シュート練習を行ったが、シュート動作に繋がる“前”のパスが上手くいかないケースが見られたので、これからの、パス練習の仕方についても解説した。

事業名：静大ジュニアハンドボールクリニック<第9回>  
実施日：令和5年12月9日（土曜日）10時～12時  
場所：静岡大学静岡キャンパス屋外ハンドボールコート  
スタッフ：村田真一、静岡大学女子ハンドボール部員  
参加者：クリニック応募者4名、静岡東中学校女子ハンドボール部員13名

### 【取り組みの詳細（報告）】

第9回目は、大学グラウンドで実施した。

この回では、ゲーム形式の実践を取り入れた。これまでの個人戦術をもとに、グループ戦術とチーム戦術への関連を意識した取り組みであった。

これまで、攻撃の意識が主であったが、ここに来て、自然とディフェンスへの意識が芽生えてきたように感じられた。



事業名：静大ジュニアハンドボールクリニック<第10回>  
実施日：令和5年12月14日（木曜日）17時～19時  
場所：静岡大学静岡キャンパス屋外ハンドボールコート  
スタッフ：村田真一、静岡大学女子ハンドボール部員  
参加者：クリニック応募者2名、静岡東中学校女子ハンドボール部員10名

### 【取り組みの詳細（報告）】

第10回目は、大学グラウンドで実施した。木曜日ながらナイターでの開催であった。

この回では、グループに分けた上で、学生中心で基礎トレーニングメニューを組みながら実践が行われた。

10回も行うと、参加中学生と学生の間でも、頻繁なコミュニケーションが図られるようになり、互いに主体性を高めた活動となった。

事業名：静大ジュニアハンドボールクリニック<第11回>  
実施日：令和5年12月16日（土曜日）17時～19時  
場所：静岡大学静岡キャンパス屋外ハンドボールコート  
スタッフ：村田真一、静岡大学女子ハンドボール部員  
参加者：クリニック応募者4名、静岡東中学校女子ハンドボール部員13名

### 【取り組みの詳細（報告）】

第10回目は、大学グラウンドで実施した。

この回では、キーパーのスローイングと共に、それをスムーズにキャッチするトレーニングをグループで実施した。

中学生にとっては、40メートル（正規）規格におけるパスは難しく、距離的な厳しさが目立った。ただし、ボール飛距離が届かない中においても、“早いゴロ”でのパスや、走るコース上に先に投げる工夫等を紹介しながら、個人での解決策を見出すように促した。



事業名：静大ジュニアハンドボールクリニック<第12回>  
実施日：令和5年12月21日（木曜日）17時～19時  
場所：静岡大学静岡キャンパス屋外ハンドボールコート  
スタッフ：村田真一、静岡大学女子ハンドボール部員  
参加者：クリニック応募者1名、静岡東中学校女子ハンドボール部員12名

### 【取り組みの詳細（報告）】

第12回目は、大学グラウンドで実施した。この回では、ゲーム形式のトレーニングを紹介した。

ゲームになると、どうしてもパスが繋がりにくく傾向にあったが、それがなぜ起こるかについて、皆で話し合いを持ちながら進めた。

簡単に解決策は見出せなかったが、味方が、“次にどのようなプレーをするかの読み”を互いに意識し合えば、“落ち着きをもちながら”もちながらプレーできる感触をつかめたようだった。



事業名：静大ジュニアハンドボールクリニック<第13回>  
実施日：令和5年12月23日（土曜日）9時～12時  
場所：静岡大学静岡キャンパス屋外ハンドボールコート  
スタッフ：村田真一、静岡大学女子ハンドボール部員  
参加者：クリニック応募者1名、静岡東中学校女子ハンドボール部員8名

### 【取り組みの詳細（報告）】

第13回目は、大学グラウンドで実施した。前回に引き続き、ゲーム形式のトレーニングを実践した。

数回のゲームにおいて毎回チームをシャッフルしながら実践し、どのチームに変わった後でも、戦術を共通理解していくコミュニケーションの重要性を促した。また、戦術がうまくいかないときには、ポジションや攻撃隊形まで変更するような“発想の転換”についても共有していった。

そうすると、自ずとチームとしてチャレンジ精神が生まれ活気が高まった。

事業名：静大ジュニアハンドボールクリニック<第14回>  
実施日：令和6年1月18日（木曜日）17時～19時  
場所：静岡大学静岡キャンパス屋外ハンドボールコート  
スタッフ：村田真一、静岡大学女子ハンドボール部員  
参加者：クリニック応募者1名、静岡東中学校女子ハンドボール部員7名

### 【取り組みの詳細（報告）】

第14回目は、大学グラウンドで実施した。前回に引き続き、ゲーム形式のトレーニングを実践した（人数の関係でセット練習が主であった）。

この回では、攻撃失敗の内容について、「シュート局面で失敗するケース」と「シュート局面以前で失敗するケース」を理解させながら、最低でも、「シュートまでは行きついて攻撃を終わらせる」ことの重要性を促した共通認識していった。そうすると、シュート局面前までの単純なミスが減ってきた。ここに、理解しながらプレーすることの重要性を共通認識できた。



最終回（第15回）は、雨天のため中止となった。

事業名：出前動きづくり教室  
実施日：令和5年11月16日（木曜日）  
場所：このはなアリーナ 草薙総合運動場体育館  
講師：山梨空良氏 スタッフ：祝原豊 祝原研究室ゼミ生4名  
参加者：参加者16名

### 【取り組みの詳細（報告）】

講師として山梨空良氏を招き、静岡市在住の小学2年から6年を対象とした運動遊びやニュースポーツを切り口とした「動きづくり教室」を実施した。この教室では対象者の年齢だけでなく体力レベルが幅広いため、手軽でアレンジも多様な「おに遊び」を主として行った。具体的なメニューは、簡単で比較的静的な遊びから、複雑でより活動的な遊びへと展開させた。これにより、対象の心的障壁を低くし、取り残される対象もなく全てのメニューにチャレンジすることができた。また後半では、おに遊びの中でも球技につながるような作戦立てを誘発する遊びを提供し、動きだけでなく、仲間とのコミュニケーションも引き出すことができた。

なお今回は、事業内容や展開の振り返りをするため、ビデオ撮影をして多様な動きに関する分析も行う。合わせて心拍応答などの諸データから多角的な分析を行い、それらをフィードバックすることで、参加者自身（や保護者）が動きや身体に興味をもてるように、分かりやすい方法でフィードバックも行う予定となっている。



事業名：出前動きづくり教室  
実施日：令和5年11月21日（火曜日）  
場所：草薙総合運動場屋内運動場  
講師：山梨空良氏 スタッフ：祝原豊 祝原研究室ゼミ生5名  
参加者：参加者13名

### 【取り組みの詳細（報告）】

11月16日の教室の継続として、引き続き講師として山梨空良氏を招き、静岡市在住の小学2年から6年を対象とした運動遊びやニュースポーツを切り口とした「動きづくり教室」を実施した。前回同様に年齢層や体力レベルが多様であったため、事前に打ち合わせを行い、身体接触が少なく、また多様な動きの誘発が期待できるおに遊びのアレンジを考案し、当日紹介・展開をした。おに遊びは、動きの難しさ、運動量、仲間との連携などを考え、①ねことねずみ、②かわりおに、③手つなぎおに、④しっぽとりおに、⑤王様しっぽとりおに、の5種類を実施した。動きづくり教室のねらいのひとつは、「多様な動きとの出会い」であり、5種の遊びによって、安定系動作・移動系動作・操作系動作の試行数と種類を確保できたことが、後の分析からも確認できた。一方で、四肢や道具をコントロールする操作系動作が十分でない

可能性も考えられたため、おに遊びの後には、ニュースポーツとしてベースボール遊びをスタッフと共に実施した。

前回からの連続での参加者も多かったことから、前回にも増して多様でダイナミックな動きと雰囲気教室を展開することができた。



事業名：出前動きづくり教室

実施日：令和5年12月9日（土曜日）

場所：静岡市立横内小学校体育館

スタッフ：祝原豊 祝原研究室ゼミ生4名 静岡大学女子バスケットボール部員5名

参加者：参加者16名

## 【取り組みの詳細（報告）】

小学生を対象とした動きづくり教室を、静岡市内の小学校で展開した。参加者は小学1年から5年の16名で、多くはバスケットボールを習慣としていた。当日、前回の教室同様おに遊びを通して、運動やスポーツに繋がる基礎的な動きに触れることを試みた。参加者間や学生とも打ち解け、5つ目の「王様しっぽとり」では、参加同士で考案した作戦を実施するなどして、遊びをするだけの留まらず楽しむ様子が多くみられた。おに遊びの後には、操作系動作が多いバスケットボールのシュートゲームなどを紹介し、大学バスケ部員とのミニゲームも展開し、参加者・保護者からおに遊びを含め高い評価をいただくことができた。

参加無料  
動きづくり出前教室  
2023. 12. 9 (土)

鬼ごっこから始めるバスケット教室  
いっしょに鬼ごっこやバスケット  
楽しみませんか？

時間 9:00-12:00  
対象 小学生  
会場 静岡市立横内小学校体育館  
連絡先 祝原研究室 (静岡大学地域創造学部)  
E-mail: スポーツプロモーション  
totoroto55@gmail.com

静岡大学女子バスケットボール部の  
お姉さんたちとバスケができるよ！

お問い合わせ  
お願いします

静岡大学地域創造学部・祝原 祝原豊  
祝原研究室 2023年度 祝原 豊

本事業は、スポーツ庁及びUNIVASの委託事業である「令和5年度大学スポーツ推進を  
活用した地域振興もくろみ事業」によるものです。

内容

1. ねことねずみ
2. おいかげっこ
3. 手つなぎおに
4. しっぽとり
5. 王様しっぽとり

心拍数、歩数を測定するよ！  
胸にベルトをつけたり  
ズボンに機械をつけたりするよ！

鬼ごっこの後に  
バスケットボール  
教室をするよ！  
初心者でもOK！



事業名：スタッフ検討会  
実施日：令和5年11月9日（木曜日）17時30分～18時30分  
場所：静岡大学静岡キャンパスサークル棟  
スタッフ：村田真一、スタッフ学生1名  
参加者：静岡キャンパス運動部活動代表者33名

### 【取り組みの詳細（報告）】

本プロジェクトの周知徹底を対面で実施すると同時に、今後の地域スポーツ振興（特に、中学校運動部活動への出張指導）に関して説明会を行った。また、本プロジェクトの一事業である「地域安全見守り隊①（見守り隊実践活動）」への協力を呼び掛けた。

本プロジェクトの存在を知りながらも、具体的にどのような活動をすればいいかについて疑問を持っていた部活動チームもあったので、そのような疑問点を解消する等、良い機会となった。

今後（次年度以降を含め）、具体的な事業へと結びつけていくように、定期的ミーティングの実施について確認し、静大部活動のクラブ・ブランディングを図っていくことが確認された。



事業名：スポーツカフェ①

イベント名：アウトドアスポーツと地域振興

実施日：令和5年度11月24日（金）17:30～19:30

天候：晴れ

場所：静岡大学共通教育A棟205

参加人数：学生・教員 6名 外部参加者

スタッフ：村越真 講師：近藤武氏（丸子アルプストレランレース）、水上泰章氏（両河内ロゲイニング）

【取り組みの詳細（報告）】 本イベントはスポーツカフェの第一弾として実施された。豊富なアウトドア資源を有する静岡市では、トレイルランニング、ナビゲーションスポーツなどに愛好者も多く、またイベントもここ15年ほどで増えている。本イベントでは、有度山トレイル三昧で毎年延べ600人を集める本プロジェクトメンバーでもある村越真がファシリテータとなり、丸子トレランの実行委員長近藤氏、両河内ロゲイニングの水上氏を招いて話題提供をしてもらい、地域がアウトドアスポーツに提供できるもの、逆にアウトドアスポーツが地域に提供できる等のテーマで語り合いを行った。

### 当日の話題提供の様子



アウトドアスポーツイベントが創り出す価値として、研究・健康・防災・街作り・人を結びつける場づくりがあること、一方で参加する側の意味づけとの整合性の重要性とともに、学生が今後地域を対象にイベントをしていく際の示唆が外部参加者から得られた。学生イベントにありがちな継続性の問題をどう乗り越えていくかが課題である点も議論された。

### 話題提供者のプレゼンテーションより



事業名：アウトドア部門（読図講習会）  
 イベント名：読図講習会  
 実施日：令和5年度11月24日（金）19:30～20:40  
 天候：晴れ  
 場所：静岡大学共通教育A棟205  
 参加人数：外部参加者 14名  
 スタッフ：村越真 講師：小泉成行氏（0-support）

【取り組みの詳細（報告）】

当日の講演の様子

静岡市は地方都市でありながら、オリエンテーリングやロゲイニングなど、ナビゲーションスポーツを愛好する人が多い。本イベントはこうしたアウトドアスポーツのみならず、登山に欠かせない読図・ナビゲーションスキルの講習で定評のある小泉氏をお招きし、そのスキルのポイントを学習する機会として、一般社会人を対象に実施された。

当日は、地域に住む上記のスポーツの愛好者が集まり、約1時間の講習を実施し、地図記号、地図の約束事、等高線からの地形の読み取り、ナビゲーションにおける地図読みのポイントを講義し、マウンテンマラソンの地図を利用して、演習を実施した。



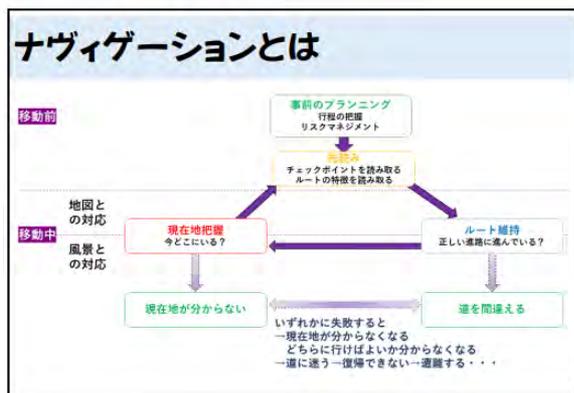
話題提供者のプレゼンテーションより

ユニバス助成事業  
 スポーツカフェ：アウトドアスポーツと地域振興

**読図・ナビゲーション講習会**

**2023.11.24**

本資料の無断での転載・複製・利用を禁じます。



**ハンドレイルとストッパー**

道や尾根など  
線状特徴物を利用する

**ハンドレイル；**  
手すりに沿うように  
進める

**ストッパー；**  
行き過ぎないための  
壁になる

事業名：アウトドア部門

イベント名：ミニオリエンテーリング体験会

実施日：令和5年度11月25日（土）10:00～15:00

天候：晴れ

場所：静岡市立大谷小学校

参加人数：25人（ラビリンス・オリエンテーリング25人、校内オリエンテーリング 20人）

スタッフ：村越真（静岡オリエンテーリングクラブ4名、静岡大学学生9名）

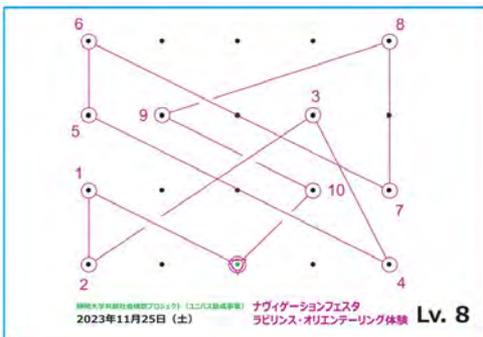
## 【取り組みの詳細（報告）】

本イベントは小鹿大谷地区を対象に実施されたバンビーノプロジェクトの一環で、ニュースポーツ体験として実施された。

元々大自然の中で行われるイメージのあるオリエンテーリング（略称O）だが、近年、校庭内での実施や体育館等でも実施できるラビリンス・Oといったプログラムが開発され、小学生でも気軽・安全に実施できるようになっている。本体験会ではこうしたプログラムを用意し、地域のオリエンテーリングクラブ員の指導の下に、これらの体験を実施した。特に小学校低学年がラビリンスOにはまり、難度の高いコースに嬉々として挑戦する様子が印象的であった。

子どもだけでなく、大学生や社会人も含めて幅広い層に楽しんでもらうことができた。

## 利用された地図



2023年11月25日（土）  
静岡大学社会連携プロジェクト「ユニアポ活動事業」  
ナビゲーションフェスタ 大谷小学校  
校内 miniオリエンテーリング体験会



上がラビリンスO、下が校内O

## 体験会の様子（左：校内O、右：ラビリンスO）



事業名：アウトドア部門

イベント名：ロゲイニング大会

実施日：令和5年度11月25日（土）10:00～13:00 （各参加者の実施時間は1時間）

天候：晴れ

場所：静岡市立大谷小学校

参加人数：23人

スタッフ：村越真

### 【取り組みの詳細（報告）】

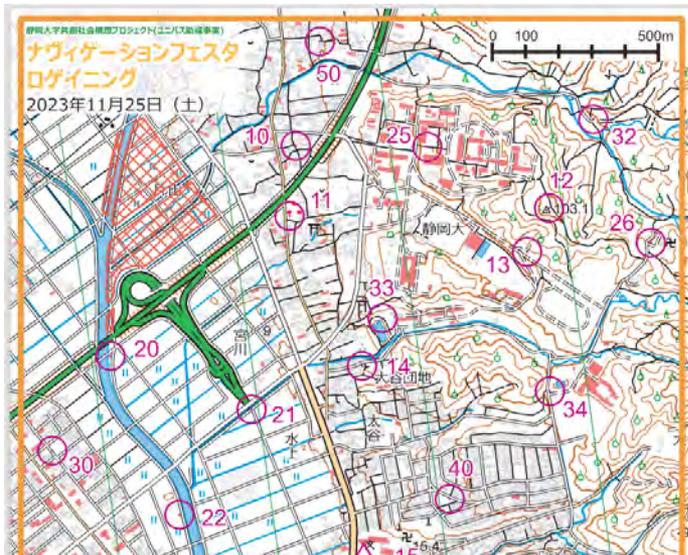
#### スタート前の説明風景



本イベントは地域おこしにもつながるアウトドアスポーツとして2005年頃から注目を集めているロゲイニングを実施したものである。オリエンテーリング体験会と会場を共有することで、相互に参加者が行き来し、様々なナビゲーションを楽しんでもらうことを意図した。

その結果、静岡大学の学生、地域の社会人などの参加があったが、その多くが校内オリエンテーリングやラビリンス0を楽しむと同時に、地域の隠れた名所や防災上の資源・課題などに触れる機会となった。

### ロゲイニング大会に使用した地図と写真票



| 大谷ナビゲーションフェスタ チェックポイント一覧表  |   |   |  | 2023年11月25日(土) |
|--|---|---|--|----------------|
| <b>六地蔵と宝蔵塔</b><br>10<br>六地蔵の塔に、かつてこの地を治めた鎌倉幕府の守護神と宝蔵塔が祀られている。                              | <b>日本平久能山スマートインター</b><br>21<br>1968年から建設はあったが、2018年に新築とリニューアルし、2019年8月14日に開通した。スマートインター、静岡大学から5分の距離にある。 | <b>小坂の森公園内部</b><br>32<br>2012年に開園した自然が溢れる公園。文芸活動や音楽活動も盛んで、駐車から徒歩で約15分。自然豊かな環境が特徴である。            |  |                |
| <b>片山園寺跡</b><br>11<br>鎌倉幕府の支配下において、片山園寺跡に建てられた。この寺跡は、現在でもその礎石や石垣など、歴史の痕跡が残っている。            | <b>いちごの形をしたタンク</b><br>22<br>日本平のまちづくりの一環として、この公園内に設置された。いちごの形をしたタンクが特徴である。                              | <b>道のせせらぎ</b><br>33<br>2017年に開園した、自然豊かな公園。道のせせらぎが特徴で、散歩やジョギングに最適な環境が整っている。                      |  |                |
| <b>静岡大学地産地消展示場</b><br>12<br>定常展示に加え、実践的な地産地消展示を行うことで、地元産品の魅力を伝えるための取り組みが実施された。             | <b>四等三角点 四反田(したん)村</b><br>23<br>高松神社内にあり、昭和48年設置。境内は静かな環境である。   | <b>ふじのくに地産地消交流センター</b><br>34<br>2016年月に開館した、地産地消の推進を目的とした施設。地元産品の販売や加工体験など、様々な取り組みが行われている。      |  |                |
| <b>高前部歌碑</b><br>13<br>この歌碑は、高前部地区の歴史や文化を伝えるために設置された。歌の内容は、地域の発展や自然の美しさを讃えている。              | <b>宮村神社</b><br>24<br>静岡市長は高前部地区の歴史や文化を伝えるために、この神社を指定文化財として指定している。                                       | <b>がけ崩れ注意看板</b><br>35<br>この看板は、地産地消の推進を目的として設置された。地域の発展や自然の美しさを伝えるための取り組みが行われている。               |  |                |
| <b>片山園寺跡五輪功</b><br>14<br>片山園寺の復興を記念して、五輪功が建てられた。この功は、地域の歴史や文化を伝えるための重要なシンボルとなっている。         | <b>静岡大学開学50周年記念モニュメント</b><br>25<br>1999年の開学50周年を記念して、静岡市の中心部に設置された。静岡市の歴史や文化を伝えるための重要なシンボルとなっている。       | <b>静河谷公園</b><br>40<br>静河谷公園は、自然豊かな環境が特徴で、散歩やジョギングに最適な環境が整っている。                                  |  |                |
| <b>あみの井戸</b><br>15<br>寺山地区の歴史や文化を伝えるための重要なシンボルとなっている。この井戸は、地域の発展や自然の美しさを伝えるための取り組みが行われている。 | <b>山田長教普賢寺の碑</b><br>26<br>江戸時代(1700年代)の寺山地区の歴史や文化を伝えるための重要なシンボルとなっている。                                  | <b>NHK宝竹ラジオ放送所</b><br>41<br>昭和30年代、NHK静岡放送局の前身となるラジオ放送所として設置された。地域の発展や自然の美しさを伝えるための取り組みが行われている。 |  |                |
| <b>高松22m</b><br>16<br>電柱につけられた高松22mの石碑は、地域の歴史や文化を伝えるための重要なシンボルとなっている。                      | <b>大谷寺 本堂</b><br>27<br>伝説によれば、村内の歴史や文化を伝えるための重要なシンボルとなっている。   | <b>片山園跡の石碑</b><br>50<br>静岡大学が定める歴史や文化を伝えるための重要なシンボルとなっている。                                      |  |                |

事業名：SPORTS FESTIVAL  
実施日：令和5年12月16日（木曜日）13時～16時  
場所：静岡大学静岡キャンパスサッカー場  
スタッフ：村田真一、  
参加者：

### 【取り組みの詳細（報告）】

ONE SHIZUOKA PROJECT様（代表：ジュビロ磐田キャプテン山田大記氏）と共催し「SPORTS FESTIVAL」を開催した。

ONE SHIZUOKA PROJECT様とは、これまでに3年間程の連携協働の経緯があり、本学学生がマネジメントや事務局機能の一部を担ってきた。本FESTIVALでは、山田氏をはじめ県内にゆかりのある12名のトップスポーツ選手によるサッカー体験プログラムを実施した。参加した子どもたちは終始笑顔で、日頃テレビで観ている選手たちと一緒にゲームできる時間を存分に楽しんでいった。また、防災啓発コーナーも常設し、スポーツと暮らし・防災の関連性について考える良い機会にもなり、共創を意図したイベントとして意義があったし、何より、学生スタッフの献身的な働きが素晴らしかった。



事業名：プロジェクト講演①

実施日：令和6年1月16日（火曜日）16時15分～18時00分

場所：静岡大学共通D棟D2教室

講師：森田太郎氏 スタッフ：村田真一、ほかスタッフ教員

参加者：地域創造学環学生、グローバル共創科学部学生、運動部所属学生、一般聴講者 計46名

### 【取り組みの詳細（報告）】

16日は、サラエヴォ・フットボール・プロジェクト代表の森田太郎氏をお招きし、「サッカーが超えた民族の壁」を開催した。森田氏自身が、2000年初頭のボスニア・ヘルツェゴヴィナ紛争による民族対立に直接的に関与してきた経験を紹介いただきながら、「どのようにしたら紛争は解決するのか」についての考え方を語られた。その中で、サッカー（スポーツ）が極めて分かりやすく、思いやりを実現できるツールとして有効であったことを説かれた。森田氏はご自身の経験を通じて、「自らの目標があるのなら“今すぐ”行動にうつすこと」、そして「“ブレーキ”をかけずに試行錯誤すること（周りの支援者の厚意を信じること）」の重要性を主張された。



事業名：プロジェクト講演②

実施日：令和6年1月18日（木曜日）14時30分～16時00分

場所：静岡大学共通D棟D2教室

スタッフ：平嶋裕輔、スタッフ学生1名

参加者：地域創造学環学生、グローバル共創科学部学生、運動部所属学生約60名

### 【取り組みの詳細（報告）】

元プロサッカー選手の中村祐輝氏をお迎えし、サッカーで海外へ挑戦した際の経緯や経験、海外プロサッカー選手からJリーガーになった経緯、さらに現在の職場である、中央静岡ヤクルト販売株式会社でのセカンドキャリアについてもお話しいただいた。

参加した学生たちからは、元プロサッカー選手の話の高い関心を持って聞くだけでなく、積極的に質問し自分のキャリア形成へ役立てようという意識が感じられた。



事業名：プロジェクト講演③

実施日：令和6年1月19日（金曜日）16時30分～18時30分、令和6年1月20日（土曜日）8時00分～10時00分

場所：静岡大学サッカー・ラグビー場

講師：吉田拓矢氏 スタッフ：平嶋裕輔

参加者：地域創造学環学生、グローバル共創科学部学生、サッカー部学生、女子サッカー部学生約50名

### 【取り組みの詳細（報告）】

国立スポーツ科学センターより吉田拓矢氏をお迎えし、2日にわたり、グラウンドで実技形式の講習会を行った。

1日目は足を速くするための効果的な身体の使い方を説明頂き、またそのためにはどのようにトレーニングする必要があるのか実技を行った。

2日目はコントロールテストを実施。学生たちは自分の運動能力がどの程度のレベルにあるのか知るとともに、今後学生のみでどのように実施していくべきか助言を頂いた。

参加した学生たちは、自分がレベルアップするという意識のみでなく、今後どのようにして自分たちで実施していくか、課題意識をもって参加していた。



事業名：プロジェクト講演④

実施日：令和6年1月20日（日曜日）10時00分～12時00分、13時30分～15時30分

場所：静岡大学地域創造学環棟301、サッカー・ラグビー場

講師：北野 誠 氏 スタッフ：平嶋裕輔

参加者：地域創造学環学生、グローバル共創科学部学生、サッカー一部学生、女子サッカー一部学生約50名

### 【取り組みの詳細（報告）】

プロサッカー指導者の北野誠氏をお迎えし、午前中に講演、午後に実技講習を行った。

講演では、プロサッカーチームでの指導経験を基に、強いチームの特徴や、どうすれば勝てるのかといった非常に興味深いテーマでお話しいただいた。

実技講習では、サッカーの原理原則に重点を置き、実際にプロサッカーチームで行っている指導を、参加した学生のレベルに合わせて行っていただいた。

参加した学生たちは、自分たちがレベルアップするという意識の中で非常に興味を持って話を聞くのみならず、積極的な質問を行い、それに対して北野氏からも非常に丁寧で熱い回答を頂き、とても活発な質疑応答となった。



事業名：女子サッカークリニック<第1回>  
実施日：令和5年11月26日（木曜日）10時～15時  
場所：静岡市立大谷小学校（大谷地区）  
スタッフ：平嶋裕輔、静岡大学女子サッカー一部部員  
参加者：静岡市内の小学生約30名

### 【取り組みの詳細（報告）】

静岡県はサッカー王国と呼ばれているが、女子サッカーの普及は進んでいない。特に、本学がある静岡市においては、殆どチームがないという現状がある。

そこで、静岡大学女子サッカー部の部員とともに、バンビーノプロジェクトの一部として、サッカークリニックおよびキックターゲットのブースを設けた。対象はあえて女子に限定しなかったものの、男子児童のみならず、女子児童の参加も目立ち、サッカーを楽しむきっかけづくりになったと考える。



事業名：女子サッカークリニック<第2回>  
実施日：令和5年12月15日（金曜日）17時～19時  
場所：静岡大学サッカー・ラグビー場  
スタッフ：平嶋裕輔、静岡大学女子サッカー一部部員  
参加者：静岡大学の学生2名

### 【取り組みの詳細（報告）】

第2回は静岡大学サッカー・ラグビー場で、女子サッカー体験会を計画した。2名の静岡大学の学生から参加申し込みがあったものの、雨天のため止む無く中止となった。

しかし女子サッカー一部の部員は、ミーティング、広報、練習計画等を行うことで、次回の実施に向けて有意義な時間を過ごすことができたと考える。



初心者大歓迎！  
**女子サッカー体験会**  
女子サッカー部の部員と楽しくサッカーをしましょう！  
**12月15日(金) 17:30-19:00**  
**静岡大学グラウンド**  
DMにて参加受付中です👋

ボールを使った遊びから試合形式まで！  
サッカーをやったことのない方でも楽しく  
サッカーができるプログラムになっています！

主催：静大SPORTSによる共創社会構想プロジェクト  
本事業は、スポーツ庁およびUNIVASの委託事業である「令和5年度大学スポーツ資源を活用した地域振興モデル事業」によるものです。

事業名：大谷静大スポーツカンファレンス

実施日：令和6年1月27日（木曜日）9時～16時

場所：静岡大学静岡キャンパス共通教育D棟D2教室

スタッフ：全関係スタッフ（5名）

参加者：静岡大学学生53名、一般参加者2名、プロジェクト事業参加者9名 合計69名

## 【取り組みの詳細（報告）】

本プロジェクトの最終報告として「大谷静大スポーツカンファレンス」を大学内で実施した。全関係スタッフや本学学生はもとより、本プロジェクトに参加いただいた住民（児童・生徒を含む）の方々や一般著効者も含め、約70名程度の規模で実施した。

本カンファレンスは2部構成から成り、第1部がプロジェクト学生によるスポーツ科学研究の報告が行われた。学士研究が11編、修士研究が2編であった。この中には、本プロジェクトを通じて実施した研究内容も3編ほど含まれており、フロアでは活発な議論が展開された。

第2部は、本プロジェクトの最終報告会であり、事業ごとの説明・報告と、実際に参加された方々からの感想交換も行われた。カンファレンス参加者からは、「自身が関わった事業だけでなく、総合的に幅広くスポーツ共創が行われていることに驚いた」との感想があった。また、「大きなきっかけを掴む1年目となったが、課題として、全学的な展開に押し上げるべくプロモーション活動をもっと効果的に推進していきたい」との声も挙がった。

全関係者が一堂に会し議論できたことは貴重なものであり、今後の進展を予感するものであった。

